

公益社団法人 日本社会福祉士会

第24回 近畿ブロック研究・研修 奈良大会

国のまほろば大和より

社会福祉の原点を見つめ未来を考える

～「その人らしく生きる」に寄り添う～

◆開催のご案内◆



開催日	2017年2月11日(土・祝)・12日(日)
会場	奈良県文化会館
主催	公益社団法人日本社会福祉士会 近畿ブロック研究・研修大会運営委員会
後援(予定)	奈良県・奈良市・奈良県社会福祉協議会・奈良市社会福祉協議会 奈良県司法書士会・リーガルサポートセンター奈良県支部 奈良県介護支援専門員協会・奈良県介護福祉士会 奈良県精神科ソーシャルワーカー協会・日本精神保健福祉士協会 奈良県医療社会事業協会・Nネット

公益社団法人 日本社会福祉士会

第 24 回 近畿ブロック研究・研修 奈良大会

開催要項

●大会テーマ

国のまほろば大和より

社会福祉の原点を見つめ未来を考える

～「その人らしく生きる」に寄り添う～

1. 開催趣旨

社会福祉士の職域は、従来の児童、高齢者、障害者分野の福祉だけにとどまらず、教育、医療、司法、行政などの分野に広がっています。高齢化や格差といった社会の変化の中で虐待、貧困などの家族機能の希薄化が進んでいることも否めません。そんな社会的要因を背景に持つ一人ひとりの人権を護りながら、その人らしく生活するための支援の担い手として、私たち「福祉」の専門職である社会福祉士に期待されているところは大きいといえます。

そこで本大会では、「福祉」のあるべき姿、根本的な考え方や価値を改めて見つめ、一人ひとりが大切にされる社会を願う活動を広げ、考える機会としたいと考えます。

本大会において私たちは、社会福祉士として「福祉」の原点を見つめ、社会福祉の価値を見直し、未来の社会に伝えていくために相互の研鑽を深めます。

一人ひとりが生活者としての尊厳と平等が確保されることを目指し、多様な人たちが共生する社会を作る方向性「社会的包摂」への実践を図ります。

2. 主 催

公益社団法人日本社会福祉士会

近畿ブロック研究・研修大会運営委員会

事務局 奈良大会実行委員会

3. 開 催 日

2017年2月11日（土・祝）・12日（日）

4. 会 場

<本会場・分科会会場>

奈良県文化会館

〒630-8213 奈良市登大路町 6-2

TEL 0742-23-8921

<懇親会会場>

奈良ホテル

〒630-8301 奈良市高畑町 1096

TEL 0742-26-3300

5. 参加定員 200名

6. 参加対象
及び参加費

	1日のみ	2日間
社会福祉士会会員	4,000円	6,000円
一般（非会員）	6,000円	10,000円
学 生	500円	1,000円

*「早割」制度あり。詳しくは【参加・懇親会・宿泊・昼食のご案内】をご参照ください。

7. 懇親会費 会員・一般・学生とも 8,000円

8. 日 程

●1日目

9:15 9:30 11:30

受付	プレ企画 (詳細・申込は別途)
----	--------------------



11:15 12:15 12:35 12:45 14:45 15:00 17:00

受付	開会式	休憩	シンポジウム	休憩	分科会
----	-----	----	--------	----	-----

17:00 18:00 20:00

移動	懇親会 (奈良ホテル)
----	----------------

●2日目

9:15 9:30 11:30 12:30 14:00 14:10 14:30

受付	分科会	昼食 休憩	記念講演	休憩	閉会式
----	-----	----------	------	----	-----

9. プログラム

【1日目】2月11日（土・祝）

プレ企画	9:30～11:30（受付 9:15～）
社会福祉士実習ワーク「実習生受け入れにあたっての年間行程」	
・主催	近畿ブロック実習班
・会場	奈良県文化会館 地下1階多目的室
・形式	ミニシンポジウム、グループ討議、個別相談
●詳細および申込方法については別途ご案内いたします。	

開会式	12:15～12:35（受付 11:15～）
・開会のあいさつ	

シンポジウム	12:45～14:45
【テーマ】	
社会福祉の原点を見つめ未来を考える ～「その人らしく生きる」に寄り添う～	
社会福祉士の実践領域が広がる今だからこそ、あらためて福祉の原点を見つめ直し、未来につながるアクションが求められる。一人ひとりの「その人らしさ」に寄り添う現場の声に学びながら、多様性を認め合う地域社会のあり方を共に考える。	
【シンポジスト】	
・あたく組 理事	
社会福祉法人ぶろぼの理事長	やまうち たみおき 氏 山内 民興 氏
・生駒市社会福祉協議会	
生駒市権利擁護支援センター専門相談員	にしむら けいこ 氏 西村 慶子 氏
・奈良県地域生活定着支援センター	
センター長	にしだ としあき 氏 西田 利昭 氏
【コーディネーター】	
・一般社団法人 今井あつたかサポート	
代表理事	いしい ひでひろ 氏 石井 日出弘 氏

分科会	15:00～17:00		
実践報告	第1分科会	京都	(相談援助・福祉経営)
	第2分科会	和歌山	(権利擁護・生活構造)
	第3分科会	奈良	(地域支援・実践研究)

【2日目】2月12日(日)

分科会	9:30～11:30 (受付 9:15～)		
自由企画	第4分科会	大阪	「子どもの貧困とソーシャルワーク ～地域で子どもと家庭を支える私たちの役割～」
	第5分科会	兵庫	「福祉版クロスロード～あなたなら、どうする?!～」
	第6分科会	滋賀	「多職種連携していますか? 地域とつながっていますか?」

記念講演	12:30～14:00		
【演題】	詩が開いた心の扉 ～『空が青いから白をえらんだのです 奈良少年刑務所詩集』～		
作家	りょう 寮	みちこ 美千子	氏

閉会式	14:10～14:30		
【表彰式】	分科会実践報告優秀発表者		
【閉会あいさつ】	一般社団法人奈良県社会福祉士会		
	●次回開催地 公益社団法人大阪社会福祉士会		



10. 記念講演講師プロフィール

【講師】 作家 寮 美千子 氏

- 【経歴】
- ・ 1955 年 東京生まれ。外務省、広告制作会社、フリーランスのコピーライターを経て、1986 年、童話「ねっけつビスケット チビスケくん」で第 10 回毎日童話新人賞を受賞、童話作家としてデビュー。童話・絵本・小説・ノンフィクションと幅広く活躍。
 - ・ 2005 年、『楽園の鳥ーカルカッタ幻想曲』で泉鏡花文学賞を受賞。
 - ・ 2006 年、首都圏より奈良に転居。
 - ・ 2007 年～2016 年、奈良少年刑務所社会性涵養プログラム講師。

- 【著書】
- ・ 『空が青いから白をえらんだのです 奈良少年刑務所詩集』：新潮文庫
 - ・ 絵本『平太郎のおばけやしき 稲生物怪物絵巻より』：ロクリン社
 - ・ 絵本『父は空 母は大地 インディアンからの伝言』：ロクリン社
 - ・ 絵本『エルトウルル号の遭難 トルコと日本を結ぶ心の物語』：小学館
 - ・ 『絵本古事記 よみがえり イザナギとイザナミ』：国書刊行会
 - ・ 童話『へいきの平太郎 稲生物怪物物語』：小学館
 - ・ 論考集『アイヌ民族否定論に抗する』共著：河出書房新社
 - ・ 幼年童話から絵本・詩・純文学・ノンフィクションまで幅広い分野で、題材も古典文学、先住民問題、宇宙天文、社会問題と幅広い。

- 【活動】
- ・ 1999 年より、ミュージシャンと組んで自作のリーディング・ライブを行っている。
 - ・ 2000 年、アニメ「マザー・テレサ」の脚本制作。その後も NHK オーディオドラマの脚本制作、朗読劇やオペラの脚本等も手掛けている。
 - ・ 2013 年、芸能ユニット「勾玉天龍座」を結成。古事記や古典文学をテーマに、物語の舞台となった場所などで上演活動をしている。
 - ・ 2013 年、奈良県富雄第三中学校の校歌を作詞。（作曲は山崎香世）
 - ・ 毎日新聞奈良版にエッセイ「ならまち暮らし」を連載中
 - ・ 2007 年より奈良少年刑務所社会性涵養プログラム講師となり、2016 年 4 月からは 18 期目の授業を行った。物語の教室（童話と詩）で月 1 回 1 時間半の授業を 6 か月間（3×6=18 回）で 1 期、1 クラス 10 名ほどの受刑者を担当していた。
使用教材：「おおかみのこがはしってきて」「どんぐりたいかい」「ほしのメリーゴーランド」「すてきなすてきなアップルパイ」（寮美千子著の絵本）
 - ・ ホームページ <http://ryomichico.net> Twitter・Facebook もあります。

11. 分科会について

【会員実践報告分科会（1日目）】

- ・ 6領域（権利擁護、生活構造、相談援助、地域支援、福祉経営、実践研究）で実施します。
- ・ 各分科会とも実践報告発表形式（1分科会3発表程度）により行います。
- ・ 1発表あたり20分程度とします。
- ・ 近畿ブロックから選出された審査委員による厳正な審査のうえ、分科会発表のうち特に優秀なものに対して、「近畿ブロック賞」を授与します。
- ・ 発表の申込方法については、「分科会発表申込要領」をご参照ください。

第1分科会 担当：一般社団法人京都社会福祉士会	相談援助・福祉経営領域
第2分科会 担当：一般社団法人和歌山県社会福祉士会	権利擁護・生活構造領域
第3分科会 担当：一般社団法人奈良県社会福祉士会	地域支援・実践研究領域

【自由企画による分科会（2日目）】

- ・ 担当する各府県士会がテーマを設定し、講演、シンポジウム、ワークショップなど特色ある分科会を行います。

第4分科会 担当：公益社団法人大阪社会福祉士会
● テーマ：子どもの貧困とソーシャルワーク ～地域で子どもと家庭を支える私たちの役割～
● 形式：シンポジウム
● 趣 旨： 子どもの貧困対策の推進に関する法律では、その目的を「子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図る」としています。この分科会では、子ども食堂、スクールソーシャルワーカー、コミュニティソーシャルワーカー、社会的養護のそれぞれの領域からの発題をもとに、子どもの貧困とソーシャルワークに関して、社会福祉士の役割の課題と展望について議論します。
● 内 容： 【シンポジスト及び発表内容】 ・ 「子ども食堂からみる子どもの貧困対策の課題」 特定非営利活動法人 み・らいず 理事 野田 満由美 氏 ・ 「スクールソーシャルワーカーと子どもの貧困への取り組み」 一般社団法人 こもれび 代表理事 水流添 綾 氏

・「コミュニティソーシャルワーカーと子どもの貧困への取り組み」

社会福祉協議会 CSW 未定

・「社会的養護の領域からみる子どもの貧困対策の課題」

児童養護施設 自立支援コーディネーター 未定

【コーディネーター】

関西大学人間健康学部 准教授 福田 公教 氏

第5分科会 担当：一般社団法人兵庫県社会福祉士会

●テーマ：福祉版クロスロード～あなたなら、どうする?!～

●形式：カードゲーム形式の参加型（グループゲーム）

●趣旨・概要：

クロスロードとは、「岐路」「分かれ道」のこと。

1995年の阪神大震災の際、神戸市職員が実際に迫られた難しい判断状況をもとに作成された災害時のジレンマについての質問をもとに、トランプ大のカードを利用した手軽なグループゲームです。

参加者は各設問に対して、それぞれの役割を意識し、自らの問題として考えられることができ、自分とは異なる意見・価値観の存在への気づきも得られます。

今回は「クロスロード」の災害時のカードゲームを、兵庫県社会福祉士会のメンバーで考案した福祉版の内容として応用したものです。

◎福祉の現場で時折出くわす日常の‘ジレンマ’。

◎選択を迷い、悩んでいるのは、きっとあなただけじゃない。

誰もが感じている福祉の現場での様々なジレンマ。参加者それぞれ職場は違えど、同じ社会福祉士の仲間と話し合うことで、様々な課題解決の糸口やヒントがみつけれられるかもしれません。ぜひ、楽しみながら、お互いに日頃の仕事のあり方について考えてみましょう。

●内容：

5人または7人のグループに分かれ、各設問に対して、ゲーム形式で「イエス」「ノー」のカードを選択し、それぞれの意見を述べ合います。

多数の意見を出した方には、得点として、ミニ座布団が配布されます。最後に一番多くの座布団を集めた方が勝ちとなるゲーム形式となっています。

●参 考：

Crossroad (クロスロード) は文部科学省大都市大震災軽減化特別プロジェクトの支援を受けて作成されています。(商標登録済)

●講 師：Team Crossroad チームクロスロード (神戸市職員)

神戸市中央区保護課 桑原 潤氏

神戸市保健福祉局障害者支援課 本田 沙奈絵氏

●司会者：兵庫県社会福祉士会 (近藤健太)

第6分科会 担当：公益社団法人滋賀県社会福祉士会

●テーマ：「多職種連携していますか？ 地域とつながっていますか？」

●形 式：シンポジウム

●趣 旨：

社会福祉士は専門職として、多職種との連絡・調整や地域とのつながりによるソーシャルワーク実践を行うことがますます求められています。

その実践、多職種連携していますか？

その実践、地域とつながっていますか？

この分科会では、高齢、障がい、児童等の分野別の枠を取り払い、様々なジャンルで実践しているシンポジストから、「多職種連携」「地域とのつながり」をキーワードに報告していただきます。また、うまくいかなかった事例や悩み等も交えながら、皆さんと共に考える場とします。

実践している分野の異なる社会福祉士が、共通に持つソーシャルワークの機能と役割を探ることにより、社会福祉士の総合性を再確認するとともに、それぞれの実践を問い直します。そして、次の実践において、社会福祉士自身、クライアント、組織、地域のエンパワメントを引き出していくことを目的とします。

●内 容：

【シンポジスト及び発表内容】

様々な分野から実践報告を調整中 (社会福祉法人の実践、住民活動の実践、高齢や障がい分野にかかる権利擁護センター等の実践などを視野に入れていきます。)

【コーディネーター】

調整中